

## 経済学研究科

### 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

#### 【修士課程】

経済学研究科修士課程では、(1)現代の経済社会について、広い視野からの学識に立ち、経済学に関する高度な知識と技能をもって解析・研究しうる能力をそなえた高度専門知識人の育成、及び(2)経済に関する専門性を要する職業等に必要能力をもった高度専門職業人の育成をめざしています。

このような教育研究上の目的を達成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。

経済分析コース、政策・地域コース、世界経済コースの3コースを設け、学生が専攻するコースを中心に体系的・系統的な研究が可能となっています。

各コースには教育研究上の目的に合致した授業科目を配置し、学生の教育効果が最大限に発揮できるよう配慮しています。

授業科目は、学生の履修上の便宜を図るため、2単位科目と4単位科目をバランスよく配置しています。また、諸外国の大学院との学生交換、教員交換、留学生等への配慮から、 Semester制を導入しています。

本研究科は、学部基礎を置く大学院研究科であり、その構成員も学部とほぼ重なっていることから、大学院の教育内容は、学部の教育内容を基礎におき、その展開過程として設計されており、両者の教育内容の関連性、適切性は常に念頭において設定されています。

修士課程における教育内容と博士後期課程における教育内容についても、両者の関連性と適切性に配慮して制度設計がなされています。

#### 【博士後期課程】

経済学研究科博士後期課程では、経済学分野の研究者として、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基礎となる学識の育成、並びに高度専門職業人として、より先端的な技能と研究能力の向上、及びその基礎となる豊かな学識の修得を目的としています。

このような教育研究上の目的を達成するため、院生のさまざまな研究分野に対応できる研究指導体制を編成しています。また、優れた研究業績をあげた院生については、修業年限の短縮や専修科目の必要単位を削減するなどの措置もあります。